

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第8号（令和4年6月7日）

【自分の精一杯】と【協力】の大切さを学習しました 5・6年生海事研修

5月30日（月）、5・6年生が海事研修に行きました。本来、5年生の行事ですが、昨年度はコロナ禍で現6年生は海事研修が中止となったため、今年度は2学年合同で実施しました。

当日は、曇り空で時折、雨が降る天候でしたが、予定していた全ての活動を行うことができました。5・6年生はしっかりがんばりました。この「がんばった経験」を今後の生活に生かしてほしいと思います。

【砂浜散策（貝拾い）】



いっぱい拾えたね



最初の活動は、砂浜での【貝拾い】みんな夢中になって貝を拾っていました。この貝は、図画工作で活用するそうです。思い出の作品ができるといいね。

【水族館見学】



渋川青年の家に隣接する玉野マリン水族館の見学をしました。海の生物に触れるコーナーでは、ヒトデやなまこなどに触りました。

【カッター実習】

ライフジャケットをしっかりと着けて、準備完了！



青年の家の先生から【自分の精一杯を出す】【人まかせにしない】というお話を聴きました。またみんなの行動から【時間がどんどん過ぎていくこと】について、注意を受けました。

【カッター実習】



最初は「よーいしょ」のかけ声も小さく、当然、櫂（かい）〔オール〕の動きもバラバラでした。青年の家の先生から「それが精一杯の力なのか？」「人まかせにしていないか？」と、時にはこぐことをやめて注意を受けました。その注意に応えるように、だんだんにみんなの声が大きく、そろそろようになりました。周りの人の動きにも気を配れるようになりました。声を出さなくてもこぐ場面もありましたが、みんなの呼吸がもう合っていたので、櫂も自然と合っていました。そして1.5 トンにカッターはおもしろいようにすすい

【感想（がんばったこと・学んだこと）】（抜粋）

タイミングを横の人と合わせることができた。本気でカッターをこいで、すごい距離をこいでも弱音を吐かず、帰りもがんばった。

本気を出せば、全員が何でもできるようになることを学んだ。

自分の力は自分が思っている以上にあることが分かりました。

1.5 トンもあるものをみんなで力を合わせれば動かせることが分かりました。

カッターをずっとこいでいて疲れたけれどがんばってこいでいたら、いつの間にか終わっていた。終わったときはすごく気持ちよくて、達成感がありました。

カッターこぎは思ったよりも大変だったけれど、最後までやり切れました。

自分だけサボらず友だちと協力してがんばることの大切さが分かりました。

カッターをみんなで合わせてこぐことを精一杯がんばった。みんなとタイミングを合わせて声を出さなくてもこぐことができた。

人の話は目を見て、背筋を伸ばして聴くことを学んだ。

厳しいこともあったけれど、行く前と後では少し変わったように感じ、成長するのだと思った。

どんなことでも地道に努力することのできるようになった。

今週は

「いじめについて考える週間」です

今週（6月6日～6月10日）は、岡山県が決めている「いじめについて考える週間」です。6月6日の児童朝会で、【いじめの定義】や【いじめの種類】等を確認し、「いじめについて考える週間をきっかけに、クラスや自分自身で、つらい思いをする人がいない学校やクラスにするためにはどうしたらよいのか、何に気が付いたらよいのかを今一度みなさんが考える機会にしてほしい」と話しました。ご家庭でもこの機会に【いじめ】についてお子さんにお話をしていただけたら幸いです。



職員室前に【いじめの種類】を貼っています。自分はどうか？周りの人はどうか？をふり返りましょう。

学校ホームページを随時更新しています

子どもたちの活躍や学校からのお知らせ等を学校ホームページに載せています。時折、ご覧いただけたら嬉しいです。

玉野市立玉小学校

検索

